

# カーリング日本女子五輪の出場枠獲得

## 目黒萌絵選手の2大会連続五輪出場に期待



2010年に開催される「バンクーバー冬季オリンピック」のカーリング競技に、日本女子が出場枠を獲得し、本町出身の目黒萌絵選手の2大会連続の五輪出場に期待が高まっています。

目黒選手は、「チーム青森」に所属し、前回の五輪をはじめ、数多くの世界大会に出場

し、チームの司令塔として活躍しています。

来年の五輪出場のためには、11月に青森市で行われるトリアル（代表決定戦）を勝ち抜かなければなりません。試合は、昨年の日本選手権2位のチーム長野と今年の日本選手権2位の常呂高校が対戦し、先に2勝したチームが「チーム青森」と対戦します。「チーム青森」はこれまでの世界大会での活躍により全4勝のうち、2勝のアドバンテージが

与えられており、2勝すれば五輪代表に決定します。

2大会連続での五輪出場に向けて目黒選手からは、「なんとか掴んだ日本の出場枠なので、トリアルはなんとしても勝って、またオリンピックの舞台に立ちたいです。町民の皆さん、応援よろしくお願いします。頑張ります。」とメッセージをいただきました。目黒選手の2大会連続での五輪出場を願って、町民の皆さんで応援しましょう。

## 「正伝空手道南風塾」の塾生が大活躍

本町幾寅の空手道場「正伝空手道南風塾」（田口桂治塾長）の皆さん12名が、3月29日に音更町で開催された第20回全北海道交流空手道選手権大会に出場し、出場した8部門のうち7部門で優勝を含む上位入賞を果たす大活躍をしました。

大会には、流派が異なる全道の空手7団体から延べ1000名が出場し、「型試合」と「組手試合」の2種目が行われました。「組手試合」小学2年生男子の部で優勝した吉田匡樹くんは「優勝が目標だったので、とてもうれしかった。これからもたくさん練習して、次の大会でも優勝できるように頑張ります。」と話していました。田口塾長は、「日頃の練習の成果を發揮して、みんながとても頑張ってくれました。」と塾生の活躍を喜んでいました。



全道大会で大活躍した南風塾の皆さん

## 緑豊かな森林の火災防止にご協力を

4月9日、本町の貴重な森林資源を林野火災から守るため、予防体制の整備と予防思想の啓発を図り、林野火災の絶滅を期することを目的として、平成21年度林野火災予防対策協議会が、みなくるにおいて開催されました。

町内外の関係者約60名が出席する中、はじめに平成20年中において林野火災皆無の実績を挙げた各地区森林愛護組合に感謝状が贈呈された後、予防対策について審議が行われ、本年度は次の事項を重点として予消防の推進を図ることになりました。

林野火災が発生しやすい6月30日までの期間が林野火災危険期間に設定されていますので、町民の皆さんも林野火災の防止にご協力をお願いします。

### 入林者に対する対策

- ・警報（通報）発令時や乾燥がはなはだしいときは、一般者の入林を禁止する。

### 非常警戒対策

- ・湿度40%以下、風速7m以上、連続5日以上降雨のないときは、非常警戒として一般者の入林火入れなどを禁止し、巡視の強化を図る。
- 火入れなどの対策
- ・共同火入れの指導。
- ・警報（通報）発令や気象状況急変の際は、一切の火入れなどを中止する。
- 林内事業者対策
- ・林内事業者は、火気取扱責任者を定め、かつ事業区域内に巡視員を配置して警戒体制を図る。
- 機械力導入に対する対策
- ・燃料又は引火性薬剤のある付近では、絶対に火気を使用しない。
- ・機械に燃料を補給するときは、必ずスイッチを切り安全な状態にして行うよう指導の徹底を図る。

## 新入学おめでとう！ 新生活に心躍らせて 町内各学校「入学式」

4月6日、町内の小中学校において入学式が一堂に行われ、小学校4校に28名、中学校に25名の新生が入学し、在校生や父母らが見守る中、新しい学校生活の始まりに心を躍らせていました。

また、4月8日には南富良野高校で入学式が行われ、16名の新生が将来への夢と希望を胸に新たな学校生活をスタートしました。



△落合小学校（2名入学）：在校生を前に笑顔で自己紹介する1年生



△下金山小学校（2名入学）：緊張しながら入学式に臨む1年生



△北落合小学校（1名入学）：教室で笑顔の1年生



△南富良野高校（16名入学）：新生代表宣誓



△南富良野中学校（25名入学）：在校生の拍手に迎えられる1年生



△幾寅小学校（23名入学）：舞台上に整列し、名前を呼ばれて元気に返事をする1年生